

乳がんは早期発見すれば、治癒率が高いがんです

～新技術の乳がん検診で早期発見！！～

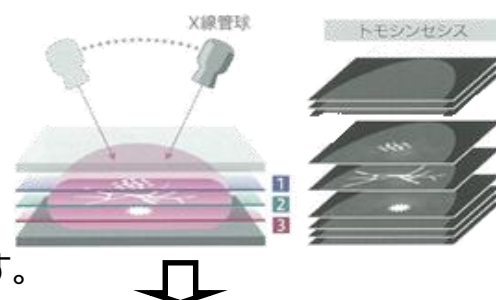
★ 3D マンモグラフィ（トモシンセシス）機能とは？ ★

通常のマンモグラフィ装置で得られる画像（2D）は厚みのある乳房の中身（乳腺、脂肪、病変など）がすべて重なり合っていて病気が隠れてしまう可能性があります。

3D マンモグラフィ（トモシンセシス）は右図のようにX線管球の角度を変化させて撮影し、1mmごとの画像を作り出します。

圧迫した乳房の厚さが5cmの場合は50枚の画像を作ります。

この機能によって、みたい場所に焦点を合わせた画像が作成できるため、乳腺構造の重なり（右図）によって発見が難しかった病変の観察が容易にできるようになりました。



特に乳腺濃度が高い（※）乳房の方には効果的です。

※乳房検診の結果で**高濃度**や**不均一高濃度**と言われた方

★ 3D マンモグラフィ（トモシンセシス）撮影方法 ★

通常のマンモグラフィと同様に乳房を圧迫した状態で撮影します。

通常の検診では両側乳房2方向撮影を行うため

乳房の圧迫を4回行うことになります。

3Dを追加すると、倍の回数圧迫されるのでは？と思いますが
当院の装置は1回の圧迫で**2Dと3D両方の撮影が可能**です。

3D マンモを追加した場合でも圧迫回数は増えません。

ただ少しだけ通常より圧迫時間が長くなります。



気になる被ばく線量ですが、今回導入の装置は従来の装置を
大幅に下回る**低線量で撮影**が可能になっています。

3D マンモを追加しても従来装置より30%も線量を抑えて撮影ができます。